

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合事象が対象になります。

平成23年12月2日に不適合管理委員会で審議された不適合事象は、下記のとおりです。

1. G I グレード 0件

2. G II グレード 1件

NO.	号機等	不適合事象	原子炉安全上の影響度合い
1	2号機	高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機の定例試験(1回/月)中、定格出力運転状態から出力が低下し自動停止した。原因を調査。なお、外観点検上、異常は確認されていない。また、非常用発電設備は2台確保されており、プラントの安全上問題ないことを確認した。【平成23年12月2日公表済み】 <a href="http://www.tepco.co.jp/nu/kk-np/press_kk/2011/pdf/23120202p.pdf">http://www.tepco.co.jp/nu/kk-np/press_kk/2011/pdf/23120202p.pdf</a>	G III 以下

3. G III グレード 4件

NO.	号機等	不適合事象	備考
1	1号機	復水器連続洗浄装置貝分離器において異物排出弁のケーブル接続部の破損を確認した。当該接続部を点検・修理。	
2	1号機	ガス絶縁開閉装置のガス漏えい点検時、550kV系断路器1つにおいて、伸縮管継ぎ手部から微量のガス(六フッ化硫黄:無害)漏れを確認した。当該継ぎ手部を点検・修理。	
3	6号機	高電導度廃液濃縮装置のデミスタ(気体中に含まれる液体のミスト(微粒子)を分離・除去するもの)に詰まり傾向を確認した。当該部品を点検・修理。	
4	その他	大湊側焼却設備焼却炉の二次バーナ供給空気圧力検出元弁から異音を確認した。当該弁を点検・修理。	